



•Tackle Guide
オモリは150~200号を使用するので、タックルはそれに対応した竿と中型電動リールの組み合わせ。仕掛けはテンピンと胴つき、両方あるといい。集魚ランプが効果を発揮する場合もあるが、サメが多く掛かったり、オマトリが頻発するようなら外す。付けエサは持参となるので準備を忘れずに。

今日のアラ五目仕掛け
竿：極鋭 中深場7：3M-2005
インテリロックスナップ付き サルカン1号
片テンピン=腕長45cm
オモリ=150~200号
クレソコサルカン 2×3号
ハリス枝ス同6号
ハリ=ムツ16号
タコバイト
マシヨマロポール
300MJ
リール=シーボーグ

12名を乗せて出船。1時間ほどでカンネコの水深4メートルに到着すると、「オモリは150号で統一してください。どろぞ」と久保船長から開始の合図が出た。さっそく船内あちらこちらで竿が曲がるが、ヒットしてきたのはサバばかり。

しばらくサバの猛攻が続き船中オマトリ処理で大忙しかったのだが、時間がたつにつれてサバの姿が減ってくる。左舷トモ3番の辻井さんが明らかにサバとは違う魚信をとらえた。釣り上げたのは1.5キロほどのマズイ。これが呼び水になったのか右舷胴の間の安蔵さんも1キロ級のマズイを釣り上げると釣友の渡辺さんにもヒット。カメラを構えているとユラユラと魚のシルエットが浮かび上がりポツカリと海面に浮いたのは1.2キロのアラだ。「こちらにもきたみたいですよ」とリールリングを始めたのは右



▲アラを専門に狙える釣り場はそうはない

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス! これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

ようやく暖かな4月となって海況が落ち着くかと思ったら、今度は梅雨を思わせるような曇天続き。今年は早めにレインウエアの準備が必要かもしれません。

▼マズイがこれだけ釣れるエリアも関東では珍しい



「カメラ! カメラ!」と船長が叫ぶ。振り向くと海面に2尾の魚がプカプカ

とつてもおいしいのに漁獲量が少ないため市場にはめったに出回らない魚がある。アラもその一つで、高級料理店くらいでしかお目にかかれな

ゴのほか大型のアラが釣れるらしいが、カンネコで釣れるアラの標準サイズは1.2キロがメインで時折3キロ級が交じるとのこと。またオニカサゴの代わりに高級食材であるマズイも釣れるらしい。

船内ではポツリポツリではあるがアラ交じりでマズイが釣れるといった展開が続いていた9時過ぎのことだった。左舷の辻井さんがヒットさせてリールリングを開始すると隣の今井さんにもヒット。その様子を見てみると「僕にもきましたよ」と渡辺さんが声を上げる。なんと3人並んでの同時ヒットだ。

悲鳴を上げる。残り1時間半となったところで私も竿を出してみた。とりあえずテンピン仕掛けでスタートすることに、先バリにヒイカと緑に染めたイカの切り身を、上バりにサケ皮とイワシを装着して投入。着底後に糸フケを取り、1メートル巻き上げたところでゆっくり誘いを入るとゴンゴンと力強いシグナルが穂先から伝わってきた。

アラの最大は2キロ
船内ではポツリポツリではあるがアラ交じりでマズイが釣れるといった展開が続いていた9時過ぎのことだった。左舷の辻井さんがヒットさせてリールリングを開始すると隣の今井さんにもヒット。その様子を見てみると「僕にもきましたよ」と渡辺さんが声を上げる。なんと3人並んでの同時ヒットだ。

早合わせは渡辺さんの二の舞になりかねない。一呼吸置いてグングンと絞り込むようなアタリになったところで竿を立てて合わせを入れる。見事にフッキングしてガンガンと激しく抵抗してきた。

マズイが呼び水に
今年の3月は天候不良の日が多く、当日も出船が危ぶまれるほどだった。船着き場で久保天詳船長が、「今日は南の本命ポイントは風が強くて行けませんのでカンネコに行きましょう」と乗船者に告げる。

「どちらの仕掛けでもいいですよ。胴つき仕掛けでは底ト

だ。気がなるのは仕掛けの種類だ。オニカサゴもマズイも海底にへばり着いている魚なので普通はテンピン仕掛けを使用するが、アラは海底から1.3メートル上が遊泳層なので胴つき仕掛けで狙うのが一般的。船長に仕掛けについて聞くと、「どちらの仕掛けでもいいですよ。胴つき仕掛けでは底ト

ントン キープ。テンピン仕掛けは時折竿一杯にリフトして誘い落とすようにしてください。ただし潮が速いときはテンピン仕掛けだと吹き上がりやすく、ハリスが長い分オマトリのリスクが増えますから状況に合わせて使い分けてください」とのことだった。

丸天丸の席決めは電話予約時に申し込むスタイルとなっており、各自指定した席に着いて準備を済ませた5時半に

掛けるキープ。テンピン仕掛けは時折竿一杯にリフトして誘い落とすようにしてください。ただし潮が速いときはテンピン仕掛けだと吹き上がりやすく、ハリスが長い分オマトリのリスクが増えますから状況に合わせて使い分けてください」とのことだった。

知得! アラという魚

アラは沖スズキと呼ばれるだけにスズキに似た魚体をしており、どんな料理にしてもおいしい。とくに鍋料理や刺身は格別だ。大型は20キロ以上になるが、気を付けなくてはならないのはヒレの毒トゲ。私も2度ほど刺された経験があるが、その痛さはオニカサゴに勝るとも劣らないほどなのでくれぐれも気を付けてほしい。



▲アラも今では貴重な釣魚

波崎のアラ五目が狙い目

茨城県波崎新港発!カンネコ 本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshitaka Suzuki

●船宿information
茨城県波崎新港
丸天丸
☎070-3826-0010
(詳細は巻末の情報欄参照)
▶料金=アラ五目乗合一人1万4000円、ルアー1万2000円(氷、軽食付き)
▶備考=集合5時、そらい次第出船。無料駐車場あり。ほかアカムツにも出船

久保 天詳船長